

## 軟弱地盤 盛土法尻での水路設置

### 事例の概要

軟弱地盤上での盛土の法尻に水路を設置する工事でした。(下図参照) 圧密沈下等の地盤沈下対策が完了する前に、水路を設置してしまいました。このため、折角工事した水路が傾斜したり、計画勾配に対して逆勾配となるなど機能を満たさなくなりました。

### 原因

圧密沈下等の地盤沈下対策の状況を確認せずに工事を実施してしまったことが原因です。

軟弱地盤では、盛土等によって周辺地盤の不等沈下や隆起を引き起こすことが多いため、

盛土に接して施工される構造物が施工中又は施工後に過大な変状が生ずることを避けなければなりません。そのためには、盛土を先行して行い、沈下が十分進んだ後に、構造物を施工するなどの工法を検討する必要があります。

### 対応策と教訓

- ・既に地盤の沈下も落ち着いてきていたため、水路を設置し直すことで対応しました。
- ・仮排水路を先に設置して、盛土の沈下が進んだ後に本設の水路を築造するなどの対策を行きましょう。

